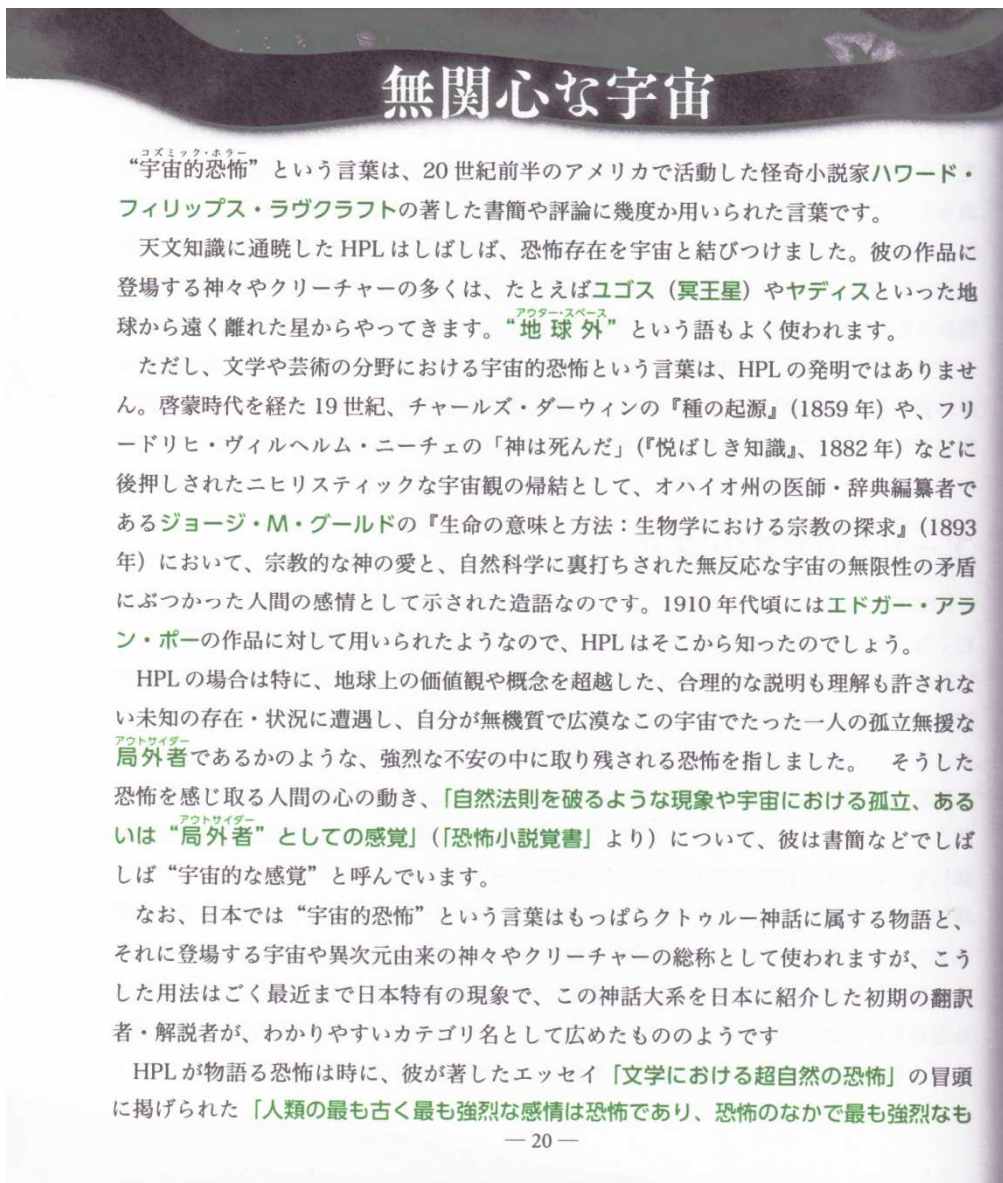


『クトゥルー神話解体新書』第2刷における修正・変更箇所リスト

※細かい誤字脱字については割愛。固有名詞や記述内容など、情報レベルで修正・変更を行った箇所のみ、このリストにまとめている。

表紙・大扉	Cthulu → Cthulhu
凡例	AWS → AWD
奥付	イラスト（追加） 鯨屋槌志 協力（追加） 渦巻栗

P20 「宇宙的恐怖」項目の1ページ目、解説の大幅改稿



- P25 エールズベイ→エールズベリイ
- P50 “深きものどもの盟主”に対する信仰が存在するのを
→ “深きものどもの盟主”として信仰されているのを
- P68 膜上 → 膜状
- P86 「クラリッツの一族」→「クラリッツの秘密」
- P106、107 ボクラグ → ボクルグ
- P110 手先をとりこんで際限ない膨張を開始する。ただし、シアエガは常にクトゥガから狙われているようで、シアエガの復活を感知したクトゥガはまっしぐらに地球へと飛来する。恐怖におののいてアザトースの宮廷に現れたシアエガの懇願を聞き届けたヨグ=ソトースやウボ=サスラらによって、シアエガの復活はなかったことにされる。
→ 手先をとりこんで意識を際限なく膨張させていく。だが、自身を敵視するクトゥガの憎悪に触れて恐怖におののいたシアエガは、アザトースの宮廷に移動して諸神に嘆願する。そして、シアエガの嘆願を聞き届けたヨグ=ソトースやウボ=サスラらによって、シアエガの復活はなかったことにされるのだった。
- P111 クトゥガから狙われている
→ クトゥガから憎悪されている
- P135 ですが、これに先立って～なっていました。→削除
関連製品でも、
→関連製品や、『クトゥルフ神話 TRPG』に先立つケイオシウム社の TRPG 『ルーンクエスト』のサプリメント『ゲートウェイ・ベスティアリー The Gateway Bestiary』でも、
- P142 “空飛ぶポリブ” “盲目のもの”などの呼称は、『クトゥルフ神話 TRPG』とその邦訳の設定です。
→“空飛ぶポリブ”の呼称は『クトゥルフ神話 TRPG』の独自設定で、86年発売の旧日本版語で用いられた“盲目のもの”は、フリッツ・ライバーの評論「ブラウン・ジェンキンとともに時空を巡る—思弁小説におけるラヴクラフトの功績」で使用されたものです。
- P143 REH が担当した第4章だが、HPL の覚書に名前と
→REH の担当章だが、HPL の覚書に名前（イエキューブ Y”cube）と
- P165 シルヴァーグ → シルヴァーバーグ
- P173 悪魔に悩まされ→悪夢に悩まされ
- P218 『ナコト断章 Pnakotic Fragments』は「銀の鍵の門を抜けて」でも使用されているので、これに基づき記述を変更
- P221 シナリオ「師資捜奇伝」 → リプレイ「師資捜奇伝」
- P236 発狂した修道士→狂える修道士
- P237、251 太平洋海域古代遺物研究所→太平洋海域考古遺物研究所



第 11 巻のタイトルにまつわる記述は誤謬につき削除

- P254 書物を読んだ → 本を目撃した
- P258 『椅子での歌』 → 『イステの歌』
- P276 ウィリアム・ダイアーの計画 → “先住者” の計画